

日本海沿岸の 15 都市で構成される日ロ沿岸市長会と、ロシア極東シベリアの 18 都市からなるロ日極東シベリア友好協会では、1970 年から、両地域の友好親善と経済協力を促進し、両地域の発展を図ることを目的として、定期的に日ロ沿岸市長会議を開催してまいりました。

また、日本側組織である日ロ沿岸市長会では、日ロ両国政府機関との連携を図るため、昨年、日本外務省ロシア課長及び在日ロシア大使館参事官より本会オブザーバーに就任いただきました。両国関係機関から助言をいただいたり、本会からの要望をお伝えするなどの情報交換を通じ、引き続き日ロ両地域の発展に尽力していくことを目指しています。

さて、本年 8 月、日本側 9 市、ロシア側 9 市の参加を得てブラゴヴェシチェンスク市にて第 21 回日ロ沿岸市長会議が開催されました。会議では、本年 6 月 7 日のハイリゲンダムにおける日露首脳会談で日本側から提案された「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」を高く評価いたしました。その上で会議参加者は、「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」の実現に加わる用意があることを、日ロ両国政府に表明することといたしました。

これを受け、「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」の中でも特に本会が寄与できる分野についての要望を、別紙のとおり提出させていただく次第です。ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 地方自治体間の協力や観光交流を含む「地域間交流の促進」

「地域間交流の促進」は、本会が設立以来 30 年余にわたって取り組んできた課題でもあります。地方自治体間の協力を推進するため、日ロ双方の会員市同士の多くは姉妹都市交流を継続してきました。

また、観光交流を発展させるため、会員市の観光パンフレットを集め、観光情報にアクセスしやすいホームページを開設しております。さらに先般の第 21 回会議での合意を踏まえ、今後観光分野で活躍する人材の相互派遣について検討することとしております。

今後人的交流をさらに促進するため、日本とロシア極東シベリア地域とを結ぶ航空運賃をより利用しやすい料金体系に改定することや、査証制度を一層簡略化することにつきましてご高配を賜りますよう、お願いいたします。

2. 運輸

日本海側が向き合うロシア極東シベリア地域、中国東北地方は近年著しく発展しており、日本海側の諸港からナホトカやウラジオストクを經由し、シベリア鉄道を活用してロシア、欧州への物流ルートを強化することは、この地域の経済活性化に向けた、日本側、ロシア側共通の長年にわたる悲願であります。また、中国沿岸地域と北米とを結ぶ物流の大動脈が最短距離となる日本海と津軽海峡を通過しており、日本・中国・米国の新たな経済的な枠組みの中で日本海側地域の果たす役割が大きくなる時代が到来しつつあることから、日本海側の港湾整備利用促進に特段のご配慮をお願い申し上げます。

3. 貿易投資の拡大及び環境の改善

平成 15 年に開催された第 19 回日ロ沿岸市長会議で合意されたコミュニケに基づき、同年 9 月、「日露貿易投資促進機構のロシア極東代表部設立」について要望したところです。商業活動におけるトラブルが発生した際に解決を図っていただけるような法律関係の専門家を配置するなど、引き続きロシア極東における機能強化にご尽力くださいますよう、お願い申し上げます。